

第 219 回友の会 河辺いきものの森

～愛知川の溪畔林に豊かな自然を求めて～

日 時 2023 年 9 月 17 日 (日)

場 所 滋賀県東近江市 河辺いきものの森

天 候 曇りときどき晴れ、驟雨 (しゅうう)

参加者 一般 17 名 (内子供 2 名) スタッフ 15 名 合計 32 名

「河辺いきものの森」に初めて行きました。JR 琵琶湖線近江八幡駅に集合して、近江鉄道に移動。八日市駅で乗り換えて次の河辺の森駅で下車。そこから田んぼの中を歩いて「河辺いきものの森」の端に到着するまでには、白い花を咲かせているソバ畑やオオイヌタデ、アキノノゲシ、ハキダメギク、クサネム、ウリクサ、ミソハギ、ヤハズソウ、ヒレタゴボウなどが見られました。そこから西口までにはシロダモ、ヤブニッケイ、カゴノキの実、クズの花、クマノミズキなども見られました。

「水辺の林」にはセンニチコウ、ハグロソウなどを見て先に進むと実が裂開して赤い果皮との黒い実のコントラストが鮮やかなゴンズイが目の前に、ネイチャーセンターではとても珍しい白い果皮のゴンズイもありました。周りには大きなタラノキが何本も見られました。

ネイチャーセンターの先にある「くさはら広場」でランチをとったあと、「ふれあいの水辺」に行き、ガガイモ、タコノアシ (環境相準絶滅危惧種 京都府絶滅寸前種)、ボントクタデ、ハイハマボス (環境省準絶滅危惧種 滋賀県絶滅危惧増大種 京都府未見種) を見にいきました。突然、カマキリが誘われるように池に飛び込み、黒くて長いハリガネムシがお尻から出てきました。それとタイコウチを 2 匹も見つけました。

広場に戻ってからマメ科の植物の話、ゴンズイの説明。『ドングリを落としたのはだれ』という絵本を使ったハイイロチョッキリの説明とクイズ。広場に来るまでに見られた植物の一通りの説明などの店開きを行いました。その後「ドングリ広場」に向けての移動中にツリガネニンジンがある場所に寄り道し、「モミジの林」を過ぎた辺りで、大変見事なヤブランの大群落がありました。

ある参加者に今回の感想を聞いてみると、「よかった。」ということと、「毎回いろいろな場所を案内してくれるのでありがたい。行ったあと、その場所を友達に紹介している。」という話が聞けました。

帰りに駅で電車を待っていると突如、激しい雨が降ってきて足元がずぶ濡れになってしまいましたが、雨が止んだあと虹を見ることが出来ました。(細川幾)



タコノアシ花



タコノアシの種殻



観察風景



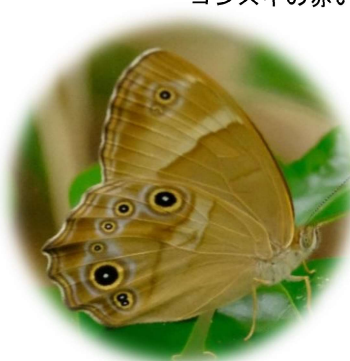
ゴンズイの赤い実



ゴンズイ白い実



クヌギのドングリ（堅果）



ヒカゲチョウ



シオカラトンボ



ムタテアカネ♂



モンズズメバチの巣



ホシダ



ハリギリ



ウスヒラタケ



ツリガネニンジン



ハイハマボス



店開き



ヤブラン群生